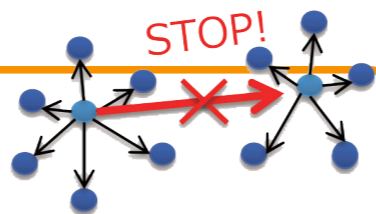


新型コロナウイルスの集団感染を防ぐために

感染拡大を防ぐために



国内では、散発的に小規模に複数の患者が発生している例がみられます。

この段階では、濃厚接触者を中心に感染経路を追跡調査することにより感染拡大を防ぎます。

今重要なのは、今後の国内での感染の拡大を最小限に抑えるため、**小規模な患者の集団（クラスター）が次の集団を生み出すことの防止**です。

※「小規模患者クラスター」とは
感染経路が追えている数人から数十人規模の患者の集団のことです。

<感染経路の特徴>

- ◆これまでに国内で感染が明らかになった方のうちの8割の方は、他の人に感染させていません。
- ◆一方、**スポーツジム、屋形船、ビュッフェスタイルの会食、雀荘、スキーのゲストハウス、密閉された仮設テント**などでは、一人の感染者が複数に感染させた事例が報告されています。

このように、集団感染の共通点は、特に、「換気が悪く」、「人が密に集まって過ごすような空間」、「不特定多数の人が接触するおそれが高い場所」です。

国民の皆さまへのお願い

- ◆換気が悪く、人が密に集まって過ごすような空間に集団で集まることを避けてください。
- ◆イベントを開催する方々は、風通しの悪い空間や、人が至近距離で会話する環境は、感染リスクが高いことから、その規模の大小にかかわらず、その開催の必要性について検討するとともに、開催する場合には、風通しの悪い空間をなるべく作らないなど、イベントの実施方法を工夫してください。

これらの知見は、今後の疫学情報や研究により変わる可能性があります。現時点で最善と考えられる注意事項をまとめたものです。

厚生労働省では、クラスターが発生した自治体と連携して、クラスター発生の早期探知、専門家チームの派遣、データの収集分析と対応策の検討などを行っていくため、国内の感染症の専門家と構成される「クラスター対策班」を設置し、各地の支援に取り組んでいます。



令和2年3月1日版

新型コロナウイルス感染症とは

発熱やのどの痛み、咳が長引くこと（1週間前後）が多く、強いだるさ（倦怠感）を訴える方が多いことが特徴です。

感染しても軽症であったり、治る例も多いですが、季節性インフルエンザと比べ、重症化するリスクが高いと考えられます。重症化すると肺炎となり、死亡例も確認されているので注意しましょう。

特に**高齢の方や基礎疾患のある方は重症化しやすい可能性**が考えられます。

新型コロナウイルスは**飛沫感染と接触感染により感染**します。空気感染は起きていないと考えられていますが、閉鎖した空間・近距離での多人数の会話などには注意が必要です。

日常生活で気を付けること

まずは手洗いが大切です。外出先からの帰宅時や調理の前後、食事前などにこまめに石けんやアルコール消毒液などで手を洗いましょう。

咳などの症状がある方は、マスク着用等の咳エチケットを行ってください。

咳やくしゃみを手で押さえると、その手で触ったものにウイルスが付着し、ドアノブなどを介して他の方に病気をうつす可能性があります。持病がある方や高齢の方は、できるだけ人混みの多い場所を避けるなど、より一層注意してください。

【感染症対策① 正しい手洗い】

正しい手の洗い方

① 流水でよく手をぬらした後に、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。
② 手の甲をのぼすようにこすります。
③ 指先・爪の間を念入りにこすります。
④ 指の間を洗います。
⑤ 親指と手のひらをむきあわせて洗います。
⑥ 手首も忘れずに洗います。

手洗いの前に
・爪は短く切っておきましょう
・指輪や指輪は外しておきましょう

石けんを洗い終わったら、十分に水で洗い、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

【感染症対策② 咳エチケット】

3つの咳エチケット 電車や職場、学校など人が集まるところでやろう

① マスクがない時
① マスクを着用する（口・鼻を覆う）
鼻から顎までを覆い、隙間がないようにつけましょう。

② ティッシュ・ハンカチで口・鼻を覆う
ティッシュを使ったらすぐにゴミ箱に捨てましょう。ハンカチを使ったらなるべく早く洗いましょう。

③ 袖で口・鼻を覆う
マスクやティッシュ・ハンカチが使えない時は、袖や上着の内側で口・鼻を覆いましょう。

発熱などの風邪の症状が見られるときは、学校や会社を休んでください。
発熱などの風邪の症状が見られたら、毎日、体温を測定して記録してください。

こんな方はご注意ください

次の症状がある方は、まずは「帰国者・接触者相談センター」にご相談ください。

- 風邪の症状や**37.5℃以上の発熱が4日以上**続いている。
- 強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）**がある。

※**高齢者や基礎疾患などのある方は、この二つの状態が2日程度続く場合**
感染の疑いのある場合には、専門の「帰国者・接触者外来」をご紹介します。

【帰国者・接触者相談センター】

南会津保健所 電話0241-63-0306
(受付時間：平日の午前9時～午後5時)

一般的なお問い合わせなどはこちら

その他、ご自身の症状に不安がある場合などの一般的なお問い合わせは、次の専用ダイヤルにご相談ください。

【福島県相談専用ダイヤル】

電話024-521-7871
(平日の午前8時30分～午後9時)

町でも相談窓口を開設しています

【お問い合わせ（相談窓口）】

健康福祉課 健康増進係
電話0241-62-6170
(平日の午前8時30分～午後5時15分)